

# 実はそうだったのか！ フランスのホテルライフ術

フランスの旅、フランスのホテル。あなたの必須条件は？快適で賢いフランスのホテルライフ術をご紹介します！

## っとその前に…まずはフランスのトラベル・インフォメーション

- 1 時差 : 日本より-8時間。サマータイム(3月最終日曜~10月の最終日曜まで)は-7時間。
- 2 出入国 : パスポート…フランス出国時3ヶ月以上の残存期間が必要 / ビザ…観光目的で90日以内の滞在なら不要
- 3 電圧 : 標準は220~240Vで周波数50Hz。日本国内用の電化製品はそのままでは使えないので、変換プラグが必要。プラグの形状は丸形のピンが2本または3本、アダプターはCタイプかSEタイプ。(電化製品により、変圧器が必要なことがあります)
- 4 飲料水 : フランスの水道水は飲用できますが、石灰分が多いので味が気になる方はミネラルウォーター(eau minérale オー・ミネラル)をおすすめします。炭酸入り(gazeuse ガズーズ)と炭酸なし(plateプラット)があります。駅などの自動販売機では500mlで約€1.50。スーパーでは約€0.20~1。
- 5 チップ : チップ 基本的にチップは義務ではありません。快いサービスを受けたときや、特別なことを頼んだときに、お礼としてお渡しください。【レストラン】高級レストランで渡す場合は食事代の5~15%を目安に。カジュアル店ではおつりの小銭を。きりのいい金額を渡す、またはテーブルに置いておくスマートです。【ホテル】特別なことを頼んだ場合、1回につき€1程度。通常の掃除やベッドメイクには不要。【タクシー】料金の5~10%程度。
- 6 お金 : 両替 日本出国時までには少額を両替しておくことをおすすめいたします。  
: 例) 一日に使うお金の目安 20~30ユーロ相当分+お土産代+お食事代 程度。  
: クレジットカード(フランスではJCBが使えるお店が少ないため、VISA、MSTARがおすすめです)  
日本のようにサインではなく暗証番号が必要になることが多いので、4桁の暗証番号を必ずご確認ください。

## それでは、いよいよ！快適で賢いフランスのホテルライフ術

### ココが知りたい！よくある質問 BEST 3

#### 1 「バスタブはありますか？ お湯はよくですか？」 フランスのお風呂事情

フランスでは、歴史ある建物が多いことや比較的乾燥した気候が背景となり、シャワーオンリーの部屋が多く見受けられます。特に3つ星以下のホテルにその傾向が強いですが、バスタブ付きの客室があり空室があれば、弊社でもアレンジ可能ですのでリクエストくださいませ。ただし気をつけたいポイントは、フランスではタンク式の湯沸かし器を使っているところが多く、ホテルで使えるお湯の量が限られているということ。他の客室でシャワーを長時間浴びている人がいると、自分がシャワーを利用するときに途中で水が変わってしまうということもあるのです！こうなると、次にお湯が使えるようになるまで数時間待たなくてはなりません…。国が違えばお風呂文化も異なるもので、日本のお風呂はすごく贅沢ですね。

#### 2 「ツインまたはダブルベッドは確保できますか？」 ベッドタイプとちょっとした裏ワザ

フランスではカップルでひとつのベッドで休む習慣があるため、ほとんどの客室はダブルベッドとなっています。フランス人は同性同士でも比較的気軽にひとつのベッドをシェアしたりしますが、どうしてもツインベッドでなければ困る場合はお申し出くださいませ。空室があればアレンジいたします。ただし、客室数に限りがありますので、どうしてもツインベッドがなくて困った…！という場合はどうしたらいいの…？そんなときは、ホテルにもう一組掛け布団(もしくは毛布、シーツ)を用意してもらえば、自分たちで勝手にツイン仕様することもできますよ！

#### 3 「客室にはなにが備え付けてありますか？」 フランスのアメニティーは必要最低限

ずばり、タオルと石鹸程度！とお考えください。フランスはアメニティーの少ないホテルがほとんどです。パジャマ、スリッパ、歯ブラシ、ポット(あればラッキー!)は基本的にございません。ドライヤーは、3つ星ホテル以下ですと客室によってある場合とない場合があり、また備え付けてあっても性能が悪い場合もあります。ドライヤーが必ず必要という方は、日本で「海外利用可能」なドライヤーを買ってご持参されることをおすすめします。

### パリならではの！豆知識編

#### 1 パリのホテルは歴史遺産の建築物・・・客室の広さは平均13平米だけれど不均一、エアコンやエレベータのないホテルも!?

フランス、特にパリのホテルは、築年数が100年を超える歴史遺産とも呼べるような建物がほとんどです。そのため、客室ごとに広さや間取りが違い、均一化されていないのが特徴。またホテルの全客室数は100室~50室程度(50室以下の場合も多い)で、ほとんどが個人や家族による経営です。パリ市内では歴史的な建物を保存するための建築上の法律があり、ホテルを改装する場合もその条件に従わなければなりません。ですから、ホテルによっては客室の広さや間取り、エアコンの有無、エレベータの有無など、日本では当たり前だけれどパリではびっくりした!という体験をすることもあるようです。

#### 2 どうしてパリのホテルには、眺めがよい部屋が少ないの?

パリに行くと、実はエッフェル塔より高い建物が無い事にお気づきになるかと思います。これはフランスの景観安全制度によって支えられている街並みです。その結果、エッフェル塔より高い建物が存在していないため、エッフェル塔を眺められる客室というのはほぼ高台に立地しているホテルか、比較的高層階であるホテルの一部に限られた角度の客室のみ、となってしまうのです。とはいえ、パリに行くとなぜか開放的な気分になりませんか??それは高層の建物がなく、空が広く大きく見えるおかげかもしれません!

### 備えあれば憂いなし！トラブル編

#### 1 到着時になんとオーバーブック! そんなトラブルにはどうしたらいい???

ホテルの空室数は日々めぐるしく変わっています。ホテルは毎日のキャンセル数や予約してくる人の数などを想定しつつ、調整しながら予約を取っているのですが、その見込み違いが「オーバーブック」です。もしも到着時にオーバーブックと言われてしまっても、決して宿泊先がなくて路頭にまようようなことにはなりませんので、まずは理性的な態度でホテルに自己主張しましょう!

弊社では、こうしたホテルにまつわる万が一の事態にも備えた、安心のサービス・サポートをご提案しています。

##### ■<パリ到着>日本人サポート付き空港送迎(混載)

CDG空港からパリ市内の滞在先まで送迎するサービス。同行の日本人アシスタントがホテルのチェックインをお手伝いしますので、万が一トラブルがあったときの心強いサポートです!気持ちのよいパリ滞在のスタートのために…。

##### ■エミトラベルパリ・サポートラウンジ

もしもホテルでトラブルに見舞われてしまったら、まずはすぐにパリ現地の弊社サポートラウンジまでご連絡ください!

トラブルは時間が経ってしまってからでは解決できないことがほとんどです。その場で解決できるよう、日本人スタッフがお手伝いさせていただきます。

